

## 2022年3月19日裁判司法研究会議事録

### 1. 概要

【日時】2022年3月19日午後2時から午後4時ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

玉江、小林、南京家、巫（4名）

山村さんは設備の不具合か、参加できず。

### 2. 自白の証拠能力に関する法規定調査の報告

3月5日の研究会で問題になった自白の証拠能力の法規定について、巫が調査した報告書を発表した。

#### ① 自白の証拠力に関する法規定

日本国憲法38条3項に対して、刑事訴訟法319条2項と最高裁判例の解釈は矛盾し両立できない。巫の見解から言えば、判例の解釈は論理的に成り立たないと思うが、裁判は実務を含み、論理だけでは割り切れない部分もあるかもしれない。

しかし、最高裁が刑訴法319条2項を判例で否定したいのならば、刑訴法319条2項を違憲とする判断を明確に明らかにすべきである。しかし、現実にはその点をあいまいにして、刑訴法319条2項を棚上げして無視し、刑事事件の判決や学説では刑訴法319条2項だけでなく、憲法38条3項をも忘却したような主張が通用している。

これは、違憲審査権という重要な義務を課された司法の怠慢ではないか。

#### ② 刑事司法の参考事例

自白に関する憲法の規定や無罪推定原則を無視している司法の例。

- ・ 岡山女兒殺害事件の地裁判決  
物証がなく、自白の信用性を争点にして有罪判決
- ・ 鳥取米子殺人事件における状況証拠による有罪認定  
有罪立証に対する合理的な疑問の有無が有罪立証の合理性の有無にすり変わった判決
- ・ 足利事件上告審の裁判長のインタビュー  
公判廷における自白の問題
- ・ 刑事裁判における事実認定に関する木谷明と石井一正の論争  
推定無罪原則が裁判官に軽視されていること。自白の信用性に対する直感的な認定の擁護。憲法38条3項の無視。

## 【議論】

### [自白の証拠能力について]

(小林) 岡山女子殺人事件の判決理由は(新聞記事の紹介の範囲では)問題があるようには思えない。

(巫) 裁判の資料を見ることはできず、新聞記事の情報しかないが、物証がなく、自白の信用性を争点にして判決を出すのは、憲法38条3項、刑訴法319条2項に違反しているように見える。

(小林) 自白の信用性の判断方法については、裁判官や司法の専門家の中で詳しい議論があり、方法論が検討されている。

### [裁判官の無罪推定無視の傾向について]

(小林) 推定無罪の無視は問題だが、日本の裁判官の間で優勢であり、誰も批判しない。

(巫) 我々の会で批判するべきだ

(小林) …

## 3. 自白の信用性の司法専門家の見解に関する小林さんの報告

- ① 安富潔『刑事訴訟法講義第4版』、慶應義塾大学出版会、2017年4月の該当ページをコピーして配布した。
- ② 報告資料『供述(自白)証拠について』を示して報告  
供述証拠の信用性の判断の系譜として、木谷石井論争を含め、チャート法、DNA鑑定法など種々の方策が検討されている。

## 4. 研究報告の公表について

巫が、自白の証拠能力に関する研究報告をホームページで公表し、さらに、2021年8月に報告した小林の「木谷・石井論争」の報告も公表したい旨提案し、了承された。

## 5. 活動報告の公表方法について

(巫) 3月は年度末だ。各年度の活動報告をエクセルでまとめて作成してホームページで公表しているが、今年度は研究会の回数が増えて、ファイルにまとめるのが難しくなったので、議事録を公開したい。

## 6. その他の会話（要約）

（玉江）いろいろ体の具合が悪くなっている。（九州の）医者はどうも信用できない。体が元気なうちに問題を解決したい。この会も大きくしたい。

（小林）玉江さんの問題も山村さんの問題も、時間がたっていて時効の問題などがあり、即座の解決は難しい。

（巫）ガンバルしかない。

（南京家）やっぱりプーチンに頼むしかない（意味不明）。

## 7. 次回の予定

2022年4月2日（土）14時から16時くらいまで、Zoom会議。Zoomホストは小林さんの予定。

2022年3月21日

巫召鴻